

[成果情報名]フリージア新品種「石川f2号(仮称)」、「石川f3号(仮称)」、「石川f4号(仮称)」、「石川f5号(仮称)」、「石川f6号(仮称)」、「石川f7号(仮称)」の育成

[要約]「石川f2号(仮称)」、「石川f3号(仮称)」、「石川f4号(仮称)」、「石川f5号(仮称)」、「石川f6号(仮称)」、「石川f7号(仮称)」を育成した。それぞれ、3月に開花する黄色、赤紫、ピンク、オレンジなどの花色の新品種である。

[キーワード]フリージア、新品種

[担当]石川農総研・育種栽培研究部・育種グループ

[代表連絡先]電話 076-257-6911

[背景・ねらい]

フリージアは、花色が黄色のものが多く占めており、その他のカラーバリエーションが少ない。また、種球の供給元であるオランダでは濃色花が主体で日本の市場で求められているパステルカラーの品種の供給は期待できない。石川県では 2009 年に浅紫色の花色の「石川f1号」を品種登録しており、さらに新規性のある花色を有する新品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 本品種は、2004 年から 2006 年に 345 組み合わせの交配を行って得た 18,882 個体から、生産・流通関係者の協力を得て選抜したものである。2009～2011 年にかけて特性調査を実施し、区別性、均一性が確認できたことから 2011 年 6 月に品種登録を出願し、2011 年 10 月に「石川f2号(仮称)」、「石川f3号(仮称)」、「石川f4号(仮称)」、「石川f5号(仮称)」、「石川f6号(仮称)」、「石川f7号(仮称)」の名称で出願公表された。新たな花色や花型を有すること、石川県の気象条件でも 3 月の需要期に開花することが特徴である。
2. 「石川f2号(仮称)」は主力品種「アラジン」より 2～3 週間早く、3 月上中旬に開花する黄色品種で、「アラジン」と比べて花下がりが少ない(表、写真)。
3. 「石川f3号(仮称)」は赤紫色の花色の大輪で、3 月中旬に開花する(表、写真)。
4. 「石川f4号(仮称)」はピンク色の花色で、茎が硬い。花数が多く、3 月中旬に開花する(表、写真)。
5. 「石川f5号(仮称)」はオレンジ色の花色で、3 月中下旬に開花する(表、写真)。
6. 「石川f6号(仮称)」は花弁の先端ピンクで、半八重の花型品種。花数が多く、3 月下旬に開花する(表、写真)。
7. 「石川f7号(仮称)」は赤の八重咲きで、3 月下旬に開花する(表、写真)。

[成果の活用面・留意点]

1. 2009 年に品種登録された浅紫色の「石川f1号」とともに、フリージア品種のカラーバリエーションを広げ、オリジナリティを高める品種として期待できる。
2. 石川県内のフリージア生産地全域に適し、当面は県内生産者に栽培を限定する。

[具体的データ]

表 「石川f2号」～「石川f7号」の特性

品種名	花色 RHSチャートによる	茎長 (cm)	花数 (個)	着色幅 (mm)	花穂長 (mm)	開花の早晚
石川f2号	Yellow Group 12A	58.6	10.6	-	66.2	早(3月上中旬)
石川f3号	Red-Purple Group N74B	57.0	10.2	23.3	75.3	中(3月中旬)
石川f4号	Red-Purple Group N71D	50.8	11.0	25.5	87.6	中(3月中旬)
石川f5号	Orange-Red Group 34C	50.2	8.8	15.3	68.9	中(3月中下旬)
石川f6号	Red-Purple Group 67C	56.2	11.0	9.7	75.5	中(3月下旬)
石川f7号	Red-Purple Group 61B	53.6	6.8	24.9	62.4	中(3月下旬)

注: 定植は2010年10月29日。無加温ハウス栽培。



写真

上段 左から 「石川 f 2 号」、「石川 f 3 号」、「石川 f 4 号」

下段 左から 「石川 f 5 号」、「石川 f 6 号」、「石川 f 7 号」

[その他]

研究課題名：いしかわ園芸オリジナル品種育成研究、園芸作物品種育成研究

予算区分：県単

研究期間：2004～2011 年度

研究担当者：村濱稔、松田絵里子、井須博史

発表論文等：農林水産省品種出願番号 26094 号「石川 f 2 号（仮称）」、
26095 号「石川 f 3 号（仮称）」、26096 号「石川 f 4 号（仮称）」、
26097 号「石川 f 5 号（仮称）」、26098 号「石川 f 6 号（仮称）」、
26099 号「石川 f 7 号（仮称）」 出願公表（2011 年 10 月 7 日）